

徳山地区航路浚渫工事のお知らせ

令和2年度 徳山下松港徳山地区航路(-14m)浚渫工事(その2)の浚渫工事を行います。

工事施工にあたり、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解ご協力の程宜しくお願いいたします。



たしかな技術で未来をひらく

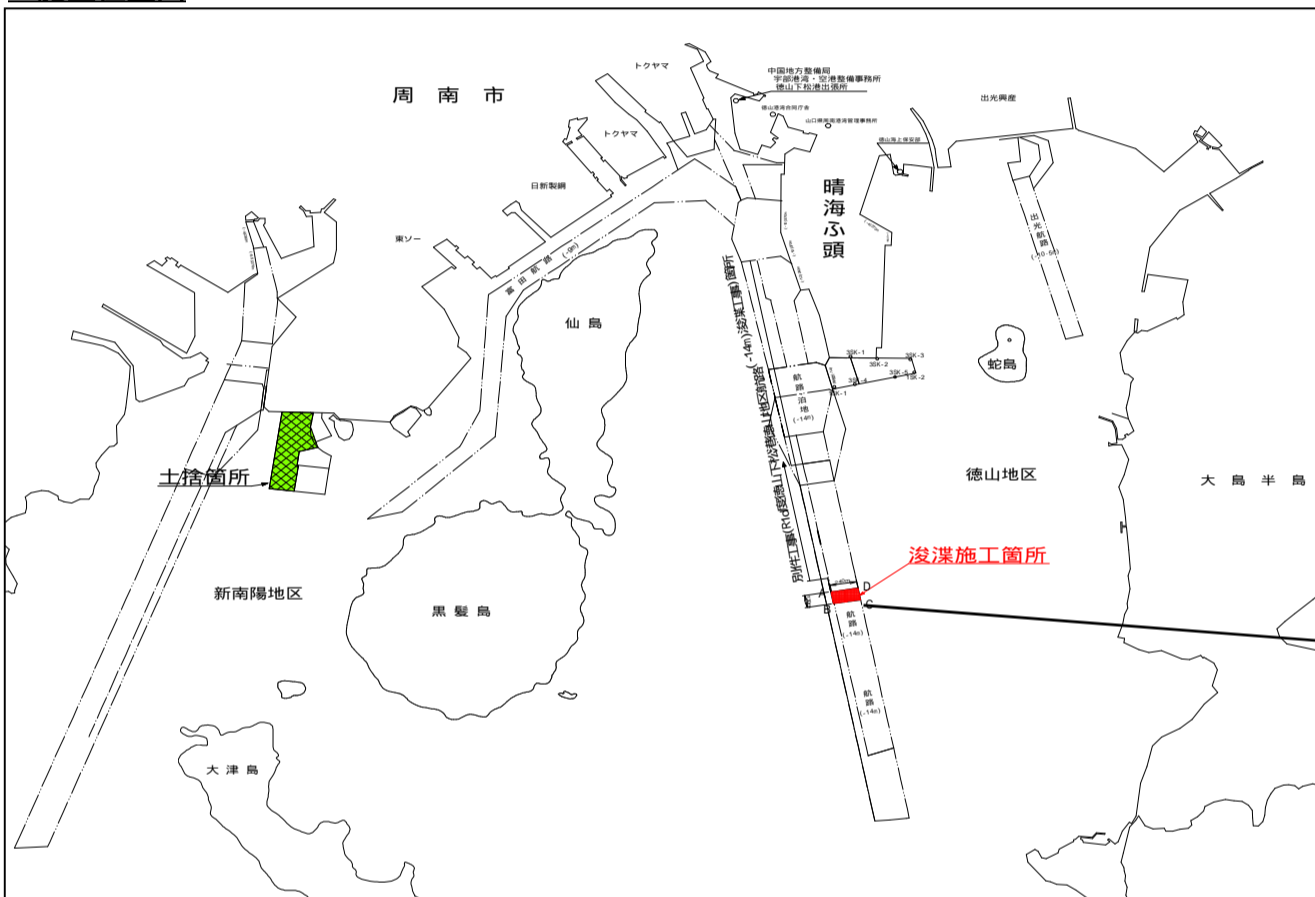
宇部工業株式会社

この度、先行工事の遅延・悪天候・現場条件の違い等により、工事期間を延伸することになりましたので再度、徳山地区航路浚渫工事のお知らせをさせていただきます。

当初9月30日 11月中旬となります。

工事名	令和2年度 徳山下松港徳山地区航路(-14m)浚渫工事(その2)		
工事概要	本工事は、令和2年度 徳山下松港徳山地区航路(-14m)浚渫工事(その2)の浚渫工及び土捨工を施工するものです。		
工事数量	浚渫工、土運船運搬工、揚土工 V=38,745m ³ 起工測量及び出来形測量 1式		
工事場所	【浚渫場所】・・・周南市晴海町 地先		
	【揚土場所】・・・周南市臨海町 地先 「施工位置図」参照		
工事期間	2020年8月下旬～2020年11月中旬 土曜日・日曜日・祝日は原則休工期とする予定です。		
工事時間	日出～日没		
発注者	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 徳山下松港出張所 0834-31-0409		
受注者	宇部工業株式会社	現場代理人 森下 航	090-4893-3264
		監理技術者 竹原 福弘	090-4807-7854

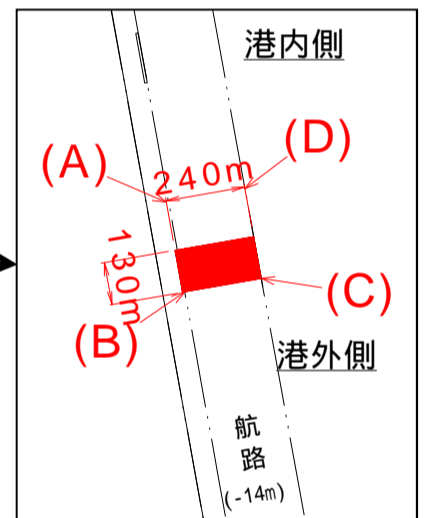
1.施工位置図



【浚渫区域】 下記4地点に囲まれた区域

地点	経度	緯度
A	34°00'46"	131°45'56"
B	34°00'42"	131°45'53"
C	34°00'38"	131°46'01"
D	34°00'42"	131°46'04"

【浚渫区域】拡大図



2.工程表

	8月	9月	10月
準備工	■	■	
深浅測量(起工)	■		
グラブ浚渫		■	■
土運船運搬		■	■
リレーマ揚土		■	■
深浅測量(出来形)			■
片付工			■

4.工程表

- 本工事の施工にあたっては「徳山下松港徳山地区浚渫工事に伴う船舶航行安全対策検討委員会【2】報告書」に従い作業を行います。
- (公社)瀬戸内海海上安全協会が運営する「安全管理室」と入出港船舶の情報共有を行い、一般船舶の航行に影響が生じないように作業調整を行います。
- 本工事に従事する作業船は、海上衝突予防法に定められた灯火・形象物を掲げると共に、下記に示す吹流し又は、横断幕等を掲揚します。

3.工事内容

深浅測量

測量船1隻により海底地形の測量を行います。
測量時は、測量範囲(浚渫工事区域)を東西方向に15m間隔で航行(往復)を行います。

グラブ浚渫

グラブ浚渫船1隻により海底の土砂を掘削します。
掘削土を浚渫船に接舷した土運船へ積み込みます。
浚渫船はスパッド式により船体固定を行います。
浚渫時は、航路東側または西側に115mの可航幅を確保し作業を行います。

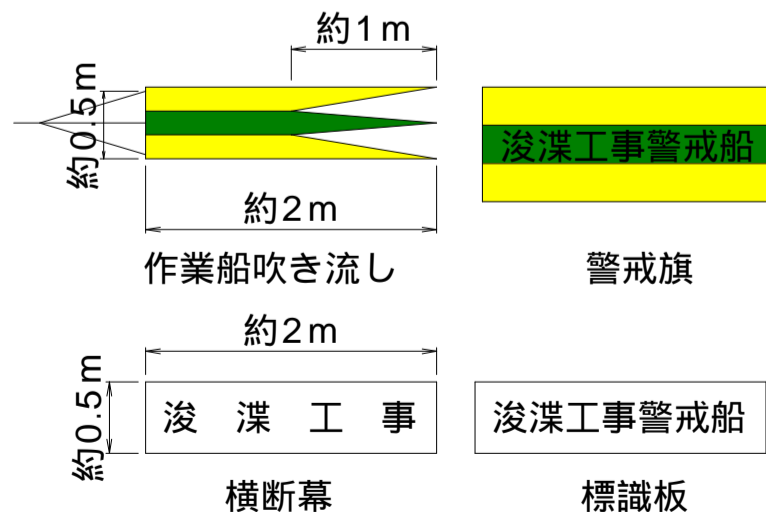
尚、170mを超える大型船舶航行時は、作業を中止し航路外へ退避を行います。

土運船運搬

土運船3隻、押船2隻により浚渫土砂の運搬を行います。
土運船運搬は押航式により運航を行います。

リレーマ揚土

リレーマ揚土船1隻により浚渫土砂の揚土を行います。



- 浚渫時は、警戒船(浚渫船の南北に各1隻)を配置します。
又、航路先端部に警戒船(国際VHF搭載)を1隻配置します。
- 揚土時は、揚土船の後方に警戒船を1隻配置します。
- 作業終了後の夜間及び休工期は、工事区域周辺の安全で一般船舶への影響が少ない水域に作業船を停泊します。
夜間は船体へ間接照明照射等にて視認性向上を図ります。